

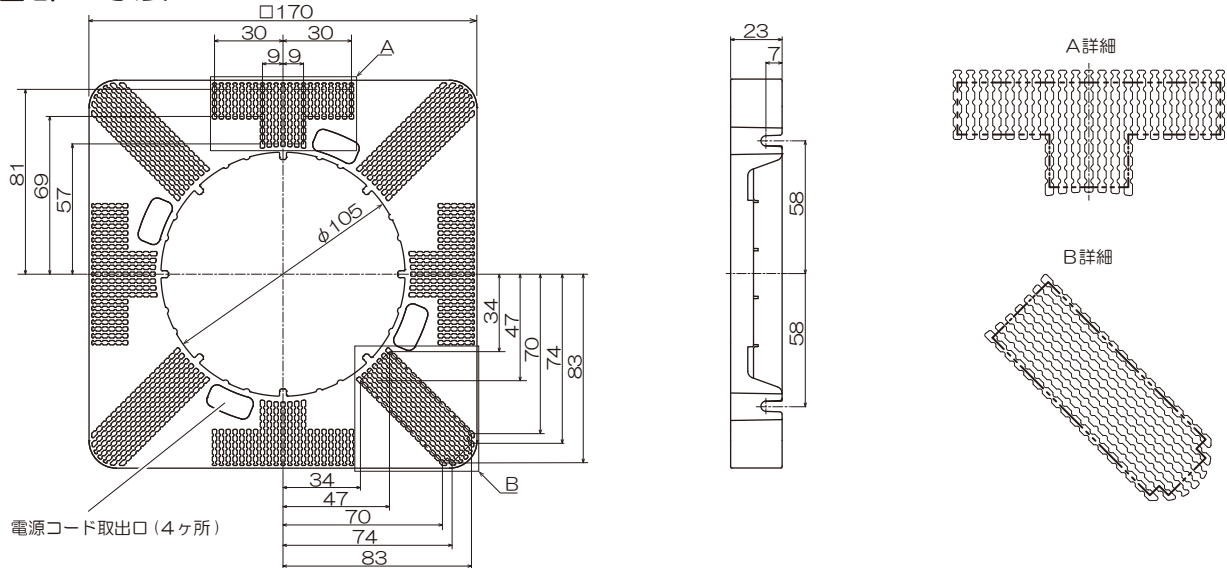
パイプスリーブ用台座 PSD-100

取付工事説明書

2507A

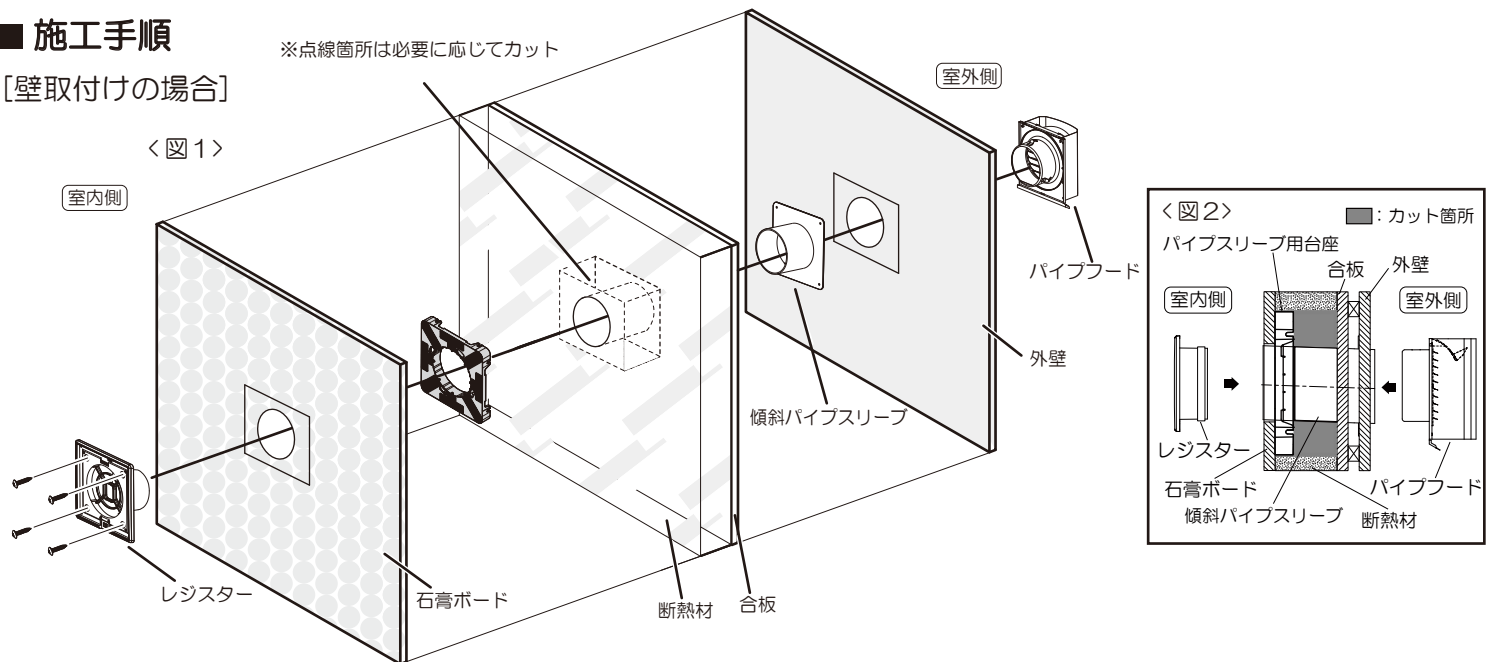
この度は、パイプスリーブ用台座 PSD-100 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本製品は、壁面を貫通するパイプ（換気扇等のダクト）を安全かつ確実に取り付けるための土台となります。
ご使用の前に、本説明書をよくお読みになり、正しく安全に施工を行ってください。

■ 製品各部の寸法



■ 施工手順

〔壁取付けの場合〕



【準備】

1. 必要な工具を揃え、安全装備を着用してください。
2. 施工位置の壁内部に電線や配管などが無いことを確認してください。
3. 「図1」の全体図を参照し、壁の各構成要素（石膏ボード、断熱材、合板、外壁）に対する台座の配置を確認してください。
4. 内壁（石膏ボード）および外壁の開口寸法を確保してください。内壁にはφ110mmの穴が必要です。

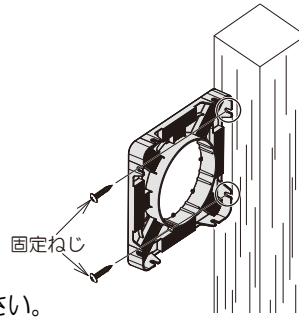
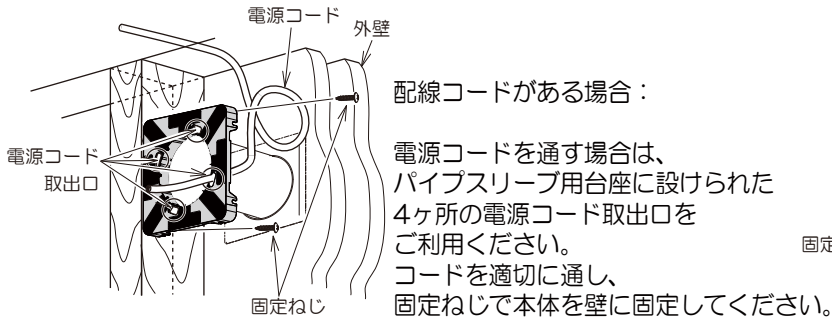
【手順】

1. 傾斜パイプスリーブの準備：指定角度に合わせて準備し、必要に応じて図1の点線箇所をカットします。
2. 外壁側からの作業：製品の外形寸法に合わせた穴（図2のカット箇所参照）を開け、台座を挿入し、垂直・水平を確認して仮固定します。
3. 内壁側からの作業と穴あけ：内壁の石膏ボードにφ110mmの穴を開け、断熱材も同様に開口します。
台座を壁厚に合わせて調整し、固定ねじで固定します。
4. レジスターの取り付け：室内側からレジスターを台座に確実に取り付け、固定ねじでしっかりと固定します。
5. パイプフードの取り付け：室外側からパイプフードを台座に確実に取り付け、付属のねじなどで固定します。

■ 注意事項

各部の寸法・A・B詳細：図1、図2、A詳細、B詳細の各部寸法や取り付け方法を正確に確認し、ねじ位置も図を参照して取り付けてください。
ねじの締め付け：ねじはしっかりと締め付け、締め付けすぎによる破損に注意してください。ねじ締めトルクは3N以下で固定してください。

■特殊な取り付けの場合



柱に取り付ける場合：

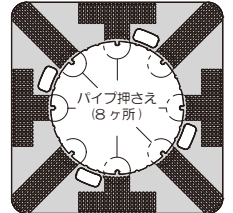
柱に固定する際は、パイプスリーブ用台座を柱の側面に取り付け、固定ねじで確実に固定してください。

〔天井取り付けの場合〕

【準備】

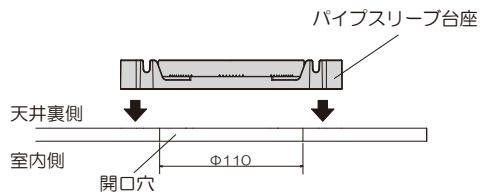
1. 工具と安全装備を用意し、周囲の安全を確認してください。
 2. 天井裏に点検口があることを確認し、作業スペースを確保してください。
 3. 施工位置の天井裏に電線・配管がないことを確認してください。
 4. 天井の開口穴はφ110mm となるように開けてください。
 5. パイプスリーブ台座のパイプ押さえ（8ヶ所）をニッパー等でカットしてください。
- 注）パイプ押さえが凸になっていると、アルミフレキダクトを破る恐れがあります。

パイプ押さえのカット：



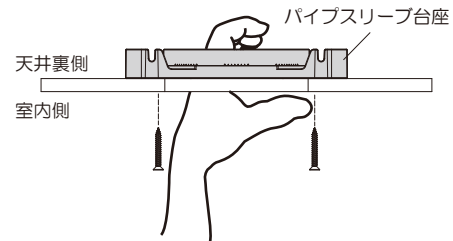
【手順】

1. パイプスリーブ台座の設置：



- ・点検口より開口穴（φ110mm）の中央に、台座を天井裏側から設置してください。

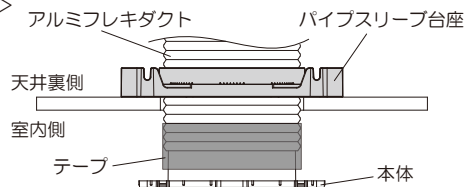
2. パイプスリーブ台座の固定：



- ・室内側から台座を押さえ、ねじ止めを行ってください。
- 注）本体取付ねじと重ならない位置に固定してください。

3. アルミフレキダクトの接続と本体の固定：

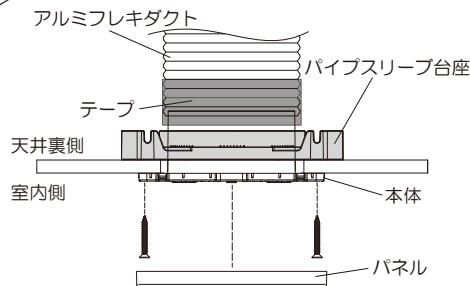
＜ケース1図＞



ケース1（室内側に引き込む場合）：アルミフレキダクトを室内側に引き込み、テープで本体に固定します。その後、本体を天井裏方向に押し込みねじ止めしてください。最後に、パネルを本体に取り付けてください。

注）アルミフレキダクトが105mm 以上になる場合は引き込みません。その際はケース2へ。

＜ケース2図＞



ケース2（室内側に引き込めない場合）：本体を先に固定し、点検口よりアルミフレキダクトをテープで本体に固定してください。その後、本体を天井裏方向に押し込みねじ止めしてください。最後に、パネルを本体に取り付けてください。

■注意事項

ねじの締め付け：ねじはしっかりと締め付け、締め付けすぎによる破損に注意してください。
ねじ締めトルクは3N 以下で固定してください。

高須産業株式会社
TSK 換気システム

〒311-2404 茨城県潮来市水原3080
TEL 0299-67-5151 FAX 0299-67-5120
ホームページアドレス <https://www.takasu-tsk.com>
メールアドレス info@takasu-tsk.com